

令和3年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和3年3月定例会

順序	議員名	要旨
1番	山田 明 (一問一答方式)	<p>1 新型コロナウイルスの接種体制及び供給スケジュールについて</p> <p>(1) 地域の実情により、様々な接種体制の構築が必要であるが、現時点では、当別町としてどのような接種体制を想定しているか。</p> <p>(2) 接種開始時期は、各自治体でばらつきが予想されるが、現時点で、どのような接種スケジュールを想定しているか。</p> <p>(3) 実施計画の策定にあたっての課題、及び現時点で問題点は、あるのか。</p> <p>(4) ワクチン接種した人への証明書は、発行するのか。また接種を受けなかった人への他からの誹謗中傷に対する人権への配慮は検討しているのか。</p> <p>2 新型コロナウイルス対策事業としての町内経済活性化について</p> <p>(1) 商工会より今年の2月に町内販売活性化に向けて、令和3年度もプレミアム付商品券の継続実施の要望書が提出されたが、町長の考えは。</p> <p>(2) 飲食店の関連事業者（酒屋、花屋、鮮魚店等）の売上げの減少が見受けられる。このような関連事業者への支援の検討は、されたのか。</p> <p>3 除雪体制の見直しについて</p> <p>(1) 降雪状況によらず、生活道路の排雪を年末と年明け2回の排雪体制とするべきと考えるが、町長の見解は。また当別町では国道、道道が多く交差しているが、排雪体制について国・道との連携調整は、行われているのか。</p> <p>(2) 下川、樺戸の堆積場は、河川法により現状の堤防と同じ高さ迄の堆積となっているが、国、道と折衝し、現在の高さ制限を2m程高くする事は、可能か伺う。また来年度に向けて他の堆積場所の確保を検討すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(3) 雪庇対策は、基本的に所有者の責任であるが、町内では、空き店舗が多く、危険な状態が見受けられる。消防署等、他機関と連携を図り、巡回パトロールを実施し、対応する事は出来ないか。</p>
2番	五十嵐信子 (一問一答方式)	<p>1 除雪の体制と除雪対策について</p> <p>人口減少に歯止めをかけ、定住人口を増加させるためには、この町で安心安全に暮らしていくかが問われる。</p> <p>特に、雪の多い当別町においては、雪対策が最重要課題ではないかと考える。</p> <p>(1) 町民からの除雪状況の確認や苦情、要望の問い合わせに対して、どのように対応されているのか。</p> <p>(2) 緊急自動車を有する機関との除雪状況の情報共有は、どのように行われているのか。</p>

		<p>(3) 私有地の借り上げによる除雪作業の利便性について考えを伺う。</p> <p>(4) 町内会との協働のあり方についての考えを伺う。</p> <p>(5) 冬期間の道路環境の課題解決について、各町内会の住民と職員が意見交換出来る工夫をしてはどうか考えを伺う。</p>
3番	鈴木 岩夫 (一問一答方式)	<p>2 断熱マンホール蓋について</p> <p>下水道マンホールの上の積雪は、下水の熱によってその部分だけ雪が融け、道路に段差が生じる。特に生活道路においては、大きな穴があることにより車の通行や、歩行の際はとても危険との声が寄せられる。</p> <p>(1) 冬期間、段差による事故に対しての町の対応を伺う。</p> <p>(2) 町内にあるマンホール蓋の数は、汚水約 3500 枚、雨水約 1500 枚と聞いている。マンホール内に「断熱マンホール蓋」を設置することで、雪を融けにくくし、段差を解消することができる。特に危険な生活道路に設置する対策を計画的に実施すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>1 新型コロナ感染症対策について</p> <p>(1) ワクチン接種が始まった。本町での接種計画も示され医療機関との協議も行われていると聞く、また、国からのワクチン供給が遅れ、量も少ないと聞く。より効果的にかつスムースに進めるために現時点での本町での接種計画について伺う。</p> <p>(2) ワクチン接種を受けたいが副反応が心配で受けるかどうか悩んでいるという声を少なからず聞く。不安感を取り除き安心して受けてもらうための方策を考えているか伺う。</p> <p>(3) 感染収束の「切り札」と宣伝されるが、「ワクチン頼み」でなく感染対策を同時並行で実施することが重要であると多くの研究者から指摘されている。感染者が出る前に無症状者の発見、クラスター抑止のために急いで社会的検査としての PCR 検査を実施すべきだ。その際、本町にある北海道医療大学の検査能力を活用し、社会的検査としての PCR 検査を実施すると答弁してきたが、いまだ実施されていない。いつごろ実施できるのか伺う。</p> <p>2 国民健康保険税、後期高齢者保険税の引き上げについて</p> <p>(1) 国保税については、一昨年 40 代 4 人家族平均家庭で年額 2 万円の引き上げが行われたばかりである。大変な出費でこれ以上の負担は限界である。それにもかかわらず今回も引き上げが計画されている。国も被保険者の「高くて払えない」の声に、均等割りの未就学児部分の負担を実施せざるを得なくなつた。コロナ下で苦しむ町民に、これ以上の苦しみを与えるべきではない。今回の引き上げは断念すべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 制度設計に問題があると言われてきているが、国が国庫負担を引き下げてきたことが大きな原因である。全国知事会も国庫負担を抜本的に引き上げることや一兆円を投入せよと国に求めている。町とし</p>

		<p>ても強く国に求めるべきと考えるが伺う。</p> <p>(3) 高齢者の暮らしは年金が頼り。その年金が、この8年間で実質6.4%減っている。それが原因で受診控えが広がっている。これ以上の負担増は、死活問題。後期高齢者保険税の引き上げは断念すべきと考えるが伺う。</p> <p>(4) 菅政権は、年200万円以上収入がある人の負担を2割にする法案を、今国会に提案成立、2022年実施を目指している。患者負担増は、親を支える現役世代の暮らしも危うくする。高齢期の患者負担増は、老後の不安をさらに深刻にする。法案撤回を強く国に求めるべきと考えるが伺う。</p>
4番	山崎 公司 (一問一答方式)	<p>3 介護保険料の引き上げと介護制度について</p> <p>(1) 前回の介護制度の見直しで、要支援1, 2の方の総合事業への移行が実施された。しかし新型コロナウイルスの影響による通所控えで総合事業から撤退する事業者が出ており、また、訪問介護の回数制限、要介護1, 2の方の特別養護老人ホーム入居制限など「保険あって介護なし」の実態が進んでいる。その状況での介護保険料引き上げは理解されない。今回の引き上げは断念すべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 前回の制度見直しに続き、今回は見送られたものの要介護1, 2の方の総合事業への移行が実施されようとした。介護制度のスタート時点の理念に立ち返り地域包括ケアの理想実現可能な制度見直しに切りかえるよう国に求めるべきと考えるが伺う。</p> <p>4 保育士の待遇改善について</p> <p>(1) 「保育支援者配置事業」を高く評価したい。また、昨年支給された「保育士、学童保育指導員への慰労金」給付についても評価したい。保育士確保が困難な状況は、改善されるどころか新型コロナウイルス感染症の影響でさらに深刻になっている。さらなる待遇改善が求められる。全産業の労働者の平均賃金との格差をなくすよう、町として国に求めるべきと考えるが伺う。</p> <p>1 脱ハンコ化の実現に向けて</p> <p>政府が進める行政手続きのはんこ使用廃止を受けて、多くの自治体が既に廃止方針を決め、又廃止を検討していると報道されている。</p> <p>(1) 町として住民の提出書類、内部決裁等の見直しを現時点で具体的にどの部門でどの書類が可能になるのか。現状について伺う。</p> <p>(2) 国は、「押印」廃止に関するマニュアルを各自治体に配布した。「押印」廃止に向けた自治体への国からの支援策は、具体的に何があるのか伺う。</p> <p>(3) 事務の効率化によりファックスやコピー用紙の利用も削減する。特にコピー用紙は使用上限を設けて実施していく事が可能か。大幅に</p>

- 削減するペーパーレス化の方向に向かう事が出来ないのか伺う。
- (4) 脱ハンコで電子契約が、テレワークの定着で拡大していく。本人が作成したことを証拠として示す必要があり、電子署名と電子サインに分けられるが、町内の事業者にどのように告知されているのか伺う。
- (5) 政府は、21年度から行政のデジタル化を目指し自治体システムを強力にDXを推進する。その内容は総務省によると
- ① 行政手続きのオンライン化
 - ② AI・RPAなどを活用した業務プロセスの標準化
 - ③ 自治体情報システム標準化
 - ④ 地方公共団体におけるテレワーク
 - ⑤ セキュリティ
 - ⑥ 消防防災分野におけるDXの促進
- これらを促すため、「自治体DX推進計画」が策定されるが行政として、特にAI・RPAの利用推進・テレワーク実施の体制作りの準備がどのように行われているのか伺う。
- ## 2 新型コロナウイルス感染症対策について
- 道内で新型コロナウイルスの感染が確認されたのは、昨年1月28日で、すでに1年以上経過し町民の暮らしと事業者に大きな影響を与えている。今後、更なる感染防止対策と町民・事業者に対し十分な支援を期待している。
- (1) 感染症の影響により、総合相談窓口に個人・事業者の経済活動等に関する新たな相談等の動きはあるか。町内における事業規模の縮小又廃業や倒産件数等どのようにこの状況を精査・検証されているか伺う。
- (2) コロナ対策で、令和2年度の町の財政がどの程度変わってきたのか。どの程度、町の負担を伴っているのか。国の臨時交付金・補助金を充てた上で来年度はさらにコロナ対策と町内経済活性化対策を重視する。現時点で、町民・事業者に対し具体的にどのような支援策を検討しているのか伺う
- (3) 感染拡大に伴う一斉休校等、不規則な学校生活のストレス対応。又道教委の調査によると本年度の児童・生徒の生活習慣に関してさらに生徒の体力が前年度より下回っていると報告されている。児童・生徒に対して改善のために、どの様に指導対応しているか伺う。
- (4) 厚生労働省が発表した昨年度の児童虐待対応件数が過去最多を更新しており、今回のコロナ禍で状況はさらに悪化していると思う。親の失業や休業による子どもへの虐待について町内の状況と対応はどのようにになっているか伺う。
- (5) この1年間で町内陽性者の中で自宅療養者・宿泊療養者はどの程度

		<p>か。その中で死亡者はいたのか。又自宅で療養する高齢者に対し、優先的に医師が推奨している「パルスオキシメーター」の貸し出す取り組みを検討してはどうか伺う。</p> <p>(6) 新生活様式を定着させていく上で感染対策として行政は新たな対応としての取組みを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none">① 妊産婦への産前・産後への対応② 乳幼児がいる家庭の検診・予防接種等への対応③ 高齢者の体力低下の問題への対応④ 図書館と利用者の衛生管理と図書の除菌対応
--	--	--

【計：4人、2時間00分（1人30分計算）】